

先進地視察研修会 REPORT

■岡山市・政令指定都市に向けた取り組み

専門委員 田中 克己

1 視察の概要

・第1日目(平成21年11月16日)

前橋市→岡山市役所・政令指定都市関係視察→岡山電気軌道(株)・公共交通(路面鉄道)関係視察→岡山電気軌道東山線・新型路面電車MOMO試乗

・第2日目(平成21年11月17日)

岡山市立オリエント美術館→岡山シンフォニーホール→岡山市中心市街地タウンウォッチング→前橋市

・参加者 吉岡代表幹事を含む幹事・専門委員等9名

2 岡山市

視察は岡山市役所に到着し、まず渡辺事務局長の歓迎挨拶で始まった。続いて企画局審議監の大月秀樹さん、小川浩大都市制度担当課長より平成21年4月に(平成15年・さいたま市、平成17年・静岡市、平成18年・堺市、平成19年・新潟市と浜松市に次いで)全国で18番目の政令指定都市として、新岡山市が誕生したことなどの経緯について説明があった。中国地方では、広島に次いで2番目の政令指定都市となる。



岡山市は、広島都市圏と岡山・倉敷都市圏から成る中国経済圏の中核都市を形成している。また、中国地方の特色としては、歴史や個性の異なる都市や地域が適度に分布する分散型の地域構造が



あげられ、瀬戸内海沿岸部においては、平坦部を中心に比較的大小さまざまな規模の都市が数多く連なりながら展開している。

このような地域構造のなか、岡山市は瀬戸内の温暖な気候風土や自然環境に恵まれ、近畿と九州を結ぶ東西軸と山陰と四国を結ぶ南北軸を結ぶクロスポイントにあり、とりわけJR岡山駅、岡山空港、山陽自動車道岡山インターチェンジなどは、交通結節点としての役割が重要となっている。

3 政令指定都市に向けた取り組み

水と緑が魅せる心豊かな庭園都市

中四国をつなぐ総合福祉（岡山型福祉）の拠点都市

岡山市の中核市移行は平成 8 年であった。平成 16 年の県南政令市構想のもと、町村合併を推進してきた経緯の説明があり、平成 17 年には全国に先駆け合併特例区を設置し、御津町、灘崎町を編入合併（674,746 人）した。また、平成 17 年 8 月に岡山市政令指定都市推進協議会（民間 133 団体→209 団体に増加・平成 20 年 7 月 31 日現在）を設立。続いて、平成 19 年 1 月 22 日に建部町、瀬戸町を編入合併（696,172 人）のうえ、平成 19 年 7 月には岡山県に政令市移行支援本部が設置された。



以降の経緯は、以下のとおりである。

平成 19 年 7 月	岡山市行政区画審議会設置
平成 19 年 11 月	行政区画審議会答申
平成 19 年 12 月	市議会議決
平成 19 年 12 月	県に政令市実現要望
平成 19 年 12 月	県市間の権限委譲における基本協定書締結
平成 20 年 2 月	区名募集
平成 19 年 12 月	総務省協議
20 年 9 月	
平成 20 年 10 月	閣議決定 指定政令の公布
平成 20 年 12 月	区設置条例
平成 21 年 4 月 1 日	指定政令の施行 政令指定都市移行 (詳細は別掲資料をご参照ください。)

政令指定都市移行に向けた取り組みのなかで、担当者は行政区をどうするかに苦心したようだ。区割は北区、中区、東区、南区の 4 つで、住民自治及び地域コミュニティーは 96 小学校区の連合町内会が単位となっている。市庁舎をどこに置くかの問題は、区割りの線引きの重要な要素となったようだ。また、移行説明会は中学校区単位で実施したとのことであった。(別掲資料参照)

一方、合併から政令指定都市まで短期間で実現できたのは岡山県の取り組み、経済人・財界人のリーダー



シップや JC・民間の旗振り役の存在が大きかったと言える。また、住民に、県南政令市構想を、**水と緑が魅せる心豊かな庭園都市**をミコロ(水と緑)とハコロ(葉っぱ)のキャラクターで具体的に印象づけたこと、**中四国をつなぐ総合福祉(岡山型福祉)の拠点都市**として、地域の特性(医師数、医療機関、老人介護施設数が全国有数であること、岡山大医学部歯学部附属病院、県立岡山病院、オムロン、高度の医療、消防ヘリ、済生会総合病院、川崎病院、市民病院、光生病院など)が市民の目に実見できる具体的なものであったことなどが担当者の実感として指摘された。

政令指定都市となった岡山市の直線距離 20km に倉敷市が隣接している。岡山市は岡山県南と四国北部の経済圏の拠点都市であり、中国地方の複眼都市(広島市→岡山市)であり、さらに交通拠点都市(岡山市←神戸市)(岡山空港→ソウル空港→ヨーロッパ)でもあり、政令都市として今後の発展が期待される場所である。

理想の都市の視察では、岡山市は前回(平成 11 年 3 月 18 日～19 日)から数え、2 回目となった。平成 11 年の視察では、(平成 7 年設立の)路面電車と都市の未来を考える会 RACDA (Amenity and Community Design Association) が中心となり、市民の立場から、人と環境にやさしく、市民が利用しやすい路面電車のあり方を考え、アメニティ豊かなモデル都市づくりを実現するべく活動を続けていることを知った。そして、今回の視察で、それが形になっていることに深い感銘を受けた次第である。



■文化施設が点在するカルチャーゾーン

専門委員 中森 隆利

政令指定都市になったばかりの岡山市の中核に県立美術館・オリエント美術館や後樂園、岡山城、そして、音楽文化活動の拠点として岡山シンフォニーホールなどの様々な文化施設が点在したカルチャーゾーンがある。岡山駅から 1kmから 1.5kmの歩いて行ける距離で、路面電車も通っていて絶好の場所となっている。岡山市は 10 年ぶりの視察で、駅周辺(地下街を含めて)や後樂園近く、そして、中心市街地などの整備事業も進み、政令都市の風格が感じられた。今回は小雨の降る中、カルチャーゾーンの中核となる岡山市立オリエント美術館とコンサートホールである岡山シンフォニーホールを見学し、担当者から詳しい説明を受けた。

前者については、博物館でなく美術館ということで建物や展示方法も整備され、見やすく独特な空間を演出していた。もともと個人から寄付されたオリエント考古美術品のコレクションをベースに、その後も資料の充実の努力の結果、西日本のオリエント研究の拠点となっている。このため、展示だけでなく調査研究や教育普及活動にも力を入れている。収蔵品も多く、何度も訪れたい美術館である。

後者は大ホールの客席が 1 階とバルコニーで 1000 席と少し、馬蹄形をした 2 階、3 階を入れた合計が 2001 席のコンサートホール。音の残響時間も空席で 2.5 秒(満席で 2 秒)と良い響きを誇り、遠方からの来場者もあり、稼働率も 8 割をキープしているという。4 階以上にある会場に至るエスカレータや階段、そしてステージと座席が狭いと感じた以外は本当に良いホールで、音響に問題のある群馬音楽センターで演奏する群馬交響楽団から見て、ここを本拠地として演奏活動する岡山フィルハーモニック管弦楽団が羨ましく思える。コンサートホールは唯の箱ではなく、文化の拠点であり、重要な都市の装置として価値がある。そして、ここには音楽をテーマとしてだけ人が集うのではなく、中心市街地からも近く学会や全国大会などのコンベンションとしての用途にも対応し、様々なコミュニケーションの場となっている。

外に出て、アーケード街を歩いて商店街を視察後、小雨で寒いなか岡山駅まで歩き、街を実感した。



■地球やお年寄りに優しい 市民みんなの足の路面電車(LRT)

—岡山電気軌道株式会社 電車事業部を視察—

専門委員 鈴木 孝尚

岡山市は、平成 21 年 4 月 1 日、全国で 18 番目の政令指定都市に移行した。その勢いにあふれる街の様子やその真ん中を走るバリアフリー対応超低床路面電車 MOMO の活躍ぶりを見に、10 年振りで岡山市の中心市街地を訪ねた。

バリアフリー対応超低床路面電車 MOMO は、2002 年 7 月に導入され、昨年視察した富山ライトレールの「ポートラム(PORTRAM)」や万葉線の「アイトラム(AI-TRAM)」の基本形となった 2 車体接続のノンステップ車両だ。2003 年には鉄道友の会の「ローレル賞」を受賞した。プラットフォーム(台車)はアドランツ(→ボンバルディア)製で、本体は新潟トランス製。JR 九州の特急列車のデザインで有名な水戸岡鋭治氏が郷土岡山市のために特別に無料で電車デザインをしたという。前回の視察でお世話になった RACDA(路面電車と都市の未来を考える会)による MOMO 導入支援により、市民募金で製作するという企画も素晴らしいものだ。



また、2004 年には、東武日光軌道線を走っていた車両を水戸岡鋭治氏のデザインでリニューアルし、外装は烏城と呼ばれている岡山城より「からすの濡れ羽色」のしっとりした黒で、インテリアは座席からブラインドまで木を使いレトロ調で仕上げ、高価な本革の吊り革は何ともいえない握り心地であった。KURO という愛称で市民に親しまれている。

同じく東武日光軌道線を走っていた車両を RACDA の呼び掛けによる市民のカンパで東武日光軌道線色に復元塗装したり、「たま電車」と呼ばれる両備グループの和歌山電鐵のたま駅長のキャラクターがデザインされた車両もあり、多くの市民への路面電車の啓発に積極的である。岡山電気軌道は、2010 年(平成 22 年)に創立 100 周年を迎える。それを機に、超低床路面電車 MOMO 2 号「エコ公共交通政令市おかやま号」が導入される予定だ。

電車営業部の今村部長から資料により説明を受けた。東山線(路線距離 3.1 km)と清輝橋線(路線距離 1.6 km)の 4.7 km という日本で最も短い営業キロの路面電車ながら、平成 20 年度実績では一日当たり 9,500 人の乗客数があり、特に定期の乗客数が毎年 2%も増加しているそうだ。2007 年には、41 年ぶりに清輝橋線の市民病院前に「東中央町」停留所を新設し、高齢化等の時代のニーズに対応して動き出したという。

岡山の路面電車は、市民の日々の暮らしの足としてしっかり活用され、安定した経営を維持している。これからの動きとしては、岡山駅東口への乗り入れ、既存路線の延伸化による路面電車環状化、JR 吉備線 LRT 化等が高齢化、CO2 削減という時代の大きな転換期を追い風に着々と進められているようだ。

車両工場にて、MOMO の点検整備用工具、東武日光軌道緑色の車両や KURO を見学し、夕暮れ時の岡山の街をMOMOに乗り、東山線3.1kmを東山から岡山駅前まで試乗した。インテリアや照明もシックな落ち着いた伝統文化の岡山を表現しているような感じを受けた。岡山駅前で降車し、駅前地下街の「岡山一番街」に入ると月曜の夕方とは思えないほどの人混みで、活気が溢れ、新しい政令指定都市の勢いを強く感じた。



両備グループの岡山電気軌道株式会社は、岡山市長へ『「エコ公共交通大国おかやま構想実現の提言」～世界一のエコ公共交通都市を岡山市において実現～』を提案し、「交通権」を認める動きのある交通基本法検討会において有識者プレゼンテーションを務めるなど、積極的に地方公共交通の再生に動いているようだ。

視察メニューには入っていなかったが、第三回路面電車サミットin岡山でRACDAが製作したジオラマ「岡山市の都心の路面電車環状化鉄道模型」が展示されている「カフェ&レストラン停車場」がオープンしたというので、帰り際のわずかの時間を使って訪ねてみた。岡山駅前から東山線に乗り、西大寺町で下車し、雨の中、地図を見ながら走り「停車場」にたどり着いた。スムーズな移動は、街の水平エレベーターといわれる「都市の装置」としての路面電車の有用性を実感した。



店に入ると、ジオラマを中心に席があり、まさに「RACDA 路面電車カフェ」そのものだった。RACDA 手作りのジオラマは想像をはるかに超えるインパクトや愛嬌があり、いつでも見られる市民への最高の啓発ツールだ。コーヒーをオーダー、「停車場駅長」に路面電車の視察に群馬から来て、ここを訪ねたと話して、許しを得てあらゆる角度から写真を撮った。コーヒーが冷めないのに慌てて飲んで岡山駅へ引き返したが、カクテルMOMOやMOMOオムライスを頼めなかったのが残念であった。RACDA会長の岡さんは「LRTは民主主義の教科書」とよく言っているそうだ。(詳しくは参考HPをご覧ください。)

岡山市は、「岡山市都市ビジョン」において、めざす都市像を次のように表現している。

『中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市』

一福祉と医療と教育、そして交通の要衝という

岡山の持つ特性をいかした都市づくりを進めていきます。

一先進的な福祉、高度な医療、伝統と厚みのある教育。これを総合化し、さらに力を高め、中四国、さらに西日本圏域の発展とそこに住む人々の幸せに貢献する都市を創造します。

県央地域は、交通、教育、医療、文化などいろいろな面で拠点都市となり得る豊かな地域資源がある。県央地域の持続可能な発展は、激しい時代の流れに容易に翻弄されずに進めるよう、できるだけ早く今活用できる地域資源からネットワーク化し、集積を強化し、群馬県、北関東ばかりではなく関東甲信越、東日本圏域の発展とそこに住む人々の幸せに貢献する世界に通用する政令指定都市を創造することから始まるのではないかと。

県央地域も人口減少化が始まった今、まだ勢いのあるうちに早くまとまり、時代をリードする成長モードへとシフトしないと現状維持さえできない衰退へのスパイラルに陥ってしまうのかも知れない。岡山での時代をリードする市民団体としての RACDA(路面電車と都市の未来を考える会)の活動はとても参考になる事例である。

☆参考 HP

岡山電気軌道株式会社 電車事業部 (路面電車)

<http://www.okayama-kido.co.jp/tramway/>

「エコ公共交通大国おかやま構想実現の提言」

～世界一のエコ公共交通都市を岡山市において実現～

http://www.ryobi.gr.jp/message/message_100506.html

エコ大国構想 岡山市への提言(PDF 書類)

<http://www.ryobi.gr.jp/message/pdf/100506-teigen.pdf>

交通基本法検討会

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_fr_000040.html

第4回 交通基本法検討会 資料1 両備グループ 説明資料

<http://www.mlit.go.jp/common/000056754.pdf>

http://www.ryobi.gr.jp/message/pdf/100120_koutsu_kihonhou.pdf

カフェ&レストラン停車場

http://image01.wiki.livedoor.jp/r/a/racda_okayama/98a93987fc1505ed.pdf

RACDAレイアウト停車場リンク

<http://wiki.livedoor.jp/racdamomo/d/%a5%ab%a5%d5%a...>

RACDA路面電車レイアウト詳細リンク

<http://wiki.livedoor.jp/racdamomo/d/%a3%d2%a3%c1%a...>

公共交通から公共の交通へ RACDA 会長の個人ホームページ

<http://wiki.livedoor.jp/racdamomo/d/%b8%f8%b6%a6%b8%f2%c4%cc%a4%ab%a4%e9%b8%f8%b6%a6%a4%ce%b8%f2%c4%cc%a4%d8>

岡山市都市交通戦略 概要版

<http://www.city.okayama.jp/contents/000059861.pdf>

岡山市の政令指定都市移行に向けた取り組み

年月日	内 容
平成16年	3月26日 岡山県南政令市構想（岡山市・御津町・灘崎町）合併協議会設置
平成17年	3月22日 御津町、灘崎町を編入合併（人口：674,746人 面積：658.6km ² ） 旧両町に、全国に先駆けて合併特例区を設置
	8月25日 岡山市政令指定都市推進協議会設立 （民間133団体で構成 平成20年7月31日現在：209団体）
	12月21日 岡山県南政令市構想（岡山市・建部町・瀬戸町）合併協議会設置
平成18年	11月 1日 岡山市政令指定都市推進本部設置
平成19年	1月22日 建部町、瀬戸町を編入合併（人口：696,172人 面積：789.9km ² ） 旧両町に、合併特例区を設置
	7月 2日 岡山県政令指定都市移行支援本部設置（岡山県）
	7月10日 県市連絡会議設置
	7月11日 岡山市行政区画等審議会設置（第1回会議開催 7月17日）
	11月20日 行政区画の編成等に関する行政区画等審議会答申
	12月21日 岡山市議会において「岡山市の政令指定都市の実現に関する意見書」議決 市長、市議長から県知事、県議長に、岡山市の政令指定都市移行実現を要望
	12月25日 権限委譲に伴う県市間における基本協定書締結
	12月26日 総務省自治行政局長訪問 岡山市長、市議長、推進協議会会長から、取り組み状況等について報告
平成20年	2月26日 総務事務次官訪問 岡山市長、市議長、推進協議会会長から、取り組み状況等について報告
	2月29日 「区名募集」実施 （2月29日から3月14日まで 応募数 5,587件）
	3月17日 岡山県議会において「岡山市の政令指定都市の実現に関する意見書」議決
	4月28日 「区名意向募集」実施 （4月28日から5月19日まで 応募数 60,075件）
	6月 6日 総務事務次官訪問 岡山県知事、岡山市長から、取り組み状況等について報告
	6月12日 行政区の名称に関する行政区画等審議会答申
	9月 2日 総務大臣訪問 岡山県知事、県議長、岡山市長、市議長、推進協議会会長から、政令指定都市移行を要望
	10月10日 岡山市の政令指定都市移行に関する閣議決定
	10月16日 指定政令の公布
	12月22日 区設置条例ほか関係条例の議決（同25日公布）
平成21年	4月 1日 指定政令の施行 政令指定都市移行

～ 政令指定都市・岡山の実現で見込まれる効果 ～

取り巻く時代背景

少子・高齢化は全国的な傾向

ほとんどの自治体は人口減少傾向の中、政令指定都市は依然として人口は増加

地方分権が進展

地方分権が進展し、地方自治体、特に都市行政に求められる役割は拡大

政令指定都市になると

県と同等の権限を持つ基礎自治体

市民生活に密着したほとんどのサービスを、市民と身近な市が直接、一元的に提供
「ワンストップ」「横断的」に的確でスピーディーなサービス提供 例：地域こども相談センター

地域の実情を直接国へ

市民ニーズや地域の実情を踏まえた施策を、国に直接働きかけることができる。

財政規模の拡大により、柔軟なメリハリの利いた財政運用を

事務委譲に伴う財源措置(239億円程度)。宝くじ販売収益金、道路特定財源 他

区制を活かした、市民協働の推進

市民に身近なサービス拠点として区役所を設置し、区域の特徴を活かしたまちづくりが行える。



ヒト・モノ・情報が集積する活気がある政令指定都市

都市基盤が充実し、利便性や集客力が高く認知度も高い都市の象徴
地方分権時代における求心力ある拠点都市
〔全国で18市 中四国地域では岡山市と広島市だけ〕

政令指定都市・岡山への期待

将来的に見込める政令指定都市移行のプラスアルファ効果

賑わいと活気ある都市 = 元気のある都市
イメージアップで経済の活性化が図られると企業の進出・出店が加速
雇用の創出が見込める
交流人口や定住人口の増加が見込め、都市としての活力がアップすると
税収の増加が期待できる 増加財源を活用したまちづくりの推進

政令指定都市・岡山



住民福祉の向上

まちづくりの進展

水と緑が魅せる心豊かな庭園都市
中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市